

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-97 甲南電機 (株) 本社内

TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

### 第 25 回政策委員会開催される

平成 28 年 12 月 13 日 (火) 12:00~14:00 の間、第 25 回政策委員会を開催し、平成 29 年度の事業計画と収支予算 (案) 等について審議しました。初めに田中会長の挨拶があり、その後審議に入りました。事務局から以下の平成 29 年度の事業計画 (案) について概要を説明しました。(網目が新規事業を示す。)

#### 1. 公益事業

##### 1. 需要対策事業

以下の事業を実施しその成果を会員企業はもとより当会の HP やシンクタンク・金融機関等に広く提供し、産業界の高度化等に貢献する。

- ① 総需要委員会において、平成 30 年・年度及び

平成 33 年・年度の油空圧機器の需要見通しを作成するとともに、必要に応じて 29 年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する。

- ② フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出入等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。
- ③ 需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に資料配布するとともに、関連団体の関係者を招いて意見交換する。
- ④ その他需要対策に必要な事業を実施する。

#### 2. 国際交流事業

近時の様々な世界政治・経済の変化を注視しつ

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 25 回政策委員会開催される・・・・・・・・・・1	技術調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
委員会開催・活動状況	会員ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
国際交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・5	今後の主要予定行事・・・・・・・・・・8
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・・・5	統計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
標準化事業/規格事業・・・・・・・・・・6	

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

つ、「国際委員会」を定期的を開催する他、必要に応じて臨時開催するなど柔軟に運用する。また、海外のフルードパワー産業に関する情報を得るため国際会議等に参加するとともに、視察団の派遣及び海外見本市への共同出展の検討を行い必要に応じてこれを実施する。

①海外のフルードパワー産業に関する情報を得るため国際会議等に参加するとともに、視察団の派遣及び海外見本市への共同出展の検討を行い必要に応じてこれを実施する。

イ) 国際サミット会議・ISC 国際統計委員会に参加。(4月、於：ハノーバメッセ会場)

ロ) ハノーバメッセ視察団の派遣。(4月予定)

ハ) MDA-INDIA 2017 等へのカタログ展示を中心とした共同出展への参加等について検討し、必要に応じて実施する。

ニ) NFPA カンファレンス等の情報を、JETRO と協力して収集し情報提供する。

②IFPEX2017 (9月13日～15日)を活用して、各国のフルードパワー工業会と意見交換する場を設ける。

③海外各国の生きた現地事情を得るために、経済産業省等の海外勤務帰国者を招き講演会を随時開催する。

④新興諸国の市場動向等について情報収集や海外市場に係わる統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する。

⑤会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール等について、在外公館等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じ講演会を開催する。

⑥その他、国際交流に必要な事業を実施する。

### 3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISO や JIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。

#### 1) ISO 対策事業 (JKA 補助事業)

① ISO 規格について検討し、必要に応じて制定若しくは改廃するとともに、我が国提案の ISO 規格化への推進を図る

(継続)

ISO/DIS Pneumatic fluid power - Test method for measuring acoustic emission

pressure level of exhaust silencers に追加する日本案の提出

② ISO 国際会議へ積極的に参加をする

イ) ISO/TC131/関連の国際会議への委員派遣 (H29.5 米国 サンアントニオ、H29.10 スイス チューリッヒ)

ロ) ISO/TC118/SC3 及び SC4 への国際会議への委員派遣

③ ISO/TC131/SC7 (密封装置：各国との連絡・会議の案内・翻訳業務等) の幹事国業務を行う

#### 2) 規格事業

日本工業規格、団体規格について審議し、必要に応じ制定若しくは改廃する。

① 日本工業規格 (新規)

イ) JIS B 8376 空気圧用速度制御弁 (H29.4 から改正作業)

ロ) JIS B 9938 油圧—難燃性作動油—使用指針 (H29.8 から改正作業)

ハ) JIS B 8372-1 空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第1部：供給者の文書に表示する主要特性 (H29.12 から改正作業)

ニ) JIS B 8372-2 空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第2部：供給者の文書に表示する主要特性の試験方法 (H29.12 から改正作業)

(継続)

イ) JIS B 8366-1 油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー構成要素及び識別記号—第1部：シリンダ内径及びピストンロッド径並びにこれらの面積比 (H28.4 から改正作業)

ロ) JIS B 8387 油圧—4ポート形モジュラスタック形弁及び4ポート形方向制御弁—サイズ02, 03, 05, 07, 08 及び10—締付寸法 (H28.4 から改正作業)

ハ) JIS B 0125-2 油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第2部：回路図 (H28.8 から改正作業)

ニ) JIS B 8396 油圧—シリンダー往復動用ピストン及びロッドシールのハウジング—寸法及び許容差 (H28.8 から改正作業)

ホ) JIS B 8396 空気圧—圧縮性流体用機器の流量特性試験方法—第2部：代替試験方法 (H28.12 から制定作業)

② 団体（工業会）規格  
（新規）

イ）JFPS 1026 液圧ホースアセンブリの取扱  
指針

（継続）

ロ）JFPS 2025 空気圧-圧力スイッチ（セン  
サ）用語（制定）

ハ）JFPS 1024 分離式油圧ジャッキの選定及  
び使用通則（改正：旧 JOHS 124）

ニ）JFPS 1025 分離式油圧ジャッキの本体の  
検査通則（改正：旧 JOHS 125）

#### 4. 技術調査事業

フルードパワー産業及び関連産業技術の高度  
化・合理化・省エネ化等へ貢献するため、新技術  
情報や新製品情報の提供を行う等、油圧部会及び  
空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施す  
る。大学等の講座に事務局専門家を講師として派  
遣する等、学会の協力関係も引き続き強化しつつ  
進めていく。

##### 1) 油圧部会及び空気圧部会

- ① IFPEX2017にて、大学等で研究しているフルー  
ドパワーロボットの動態展示等を検討・実施  
する。（JKA 補助事業：申請中）
- ② ユーザ業界の技術動向を把握するための技術  
講演会を実施する。
- ③ 若手技術者懇談会（油圧部門、空気圧部門）  
の内容の充実を図り開催する。
- ④ 高等専門学校等に会員企業から専門家講師と  
して派遣し、出張講義を実施する。（産学連携  
事業）
- ⑤ 高等専門学校等の先生方に産業界の実態をよ  
く理解していただくための方策を検討する。
- ⑥ デジタルブック「フルードパワーの世界」の  
DVDを活用しフルードパワーの普及・促進に努  
める。
- ⑦ ROHS 規制や REACH 規制等のグリーン調達に関  
する情報収集と提供を迅速に行う。
- ⑧ フルードパワー業界の知的財産の保護に関す  
る事業を推進する。
- ⑨ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、  
油空圧機器部門の中央技能検定委員（特級・  
1級・2級）の推薦、及び必要に応じて会員  
企業への情報提供を行う。
- ⑩ その他、油空圧技術に関する諸問題に対応す  
る。

##### 2) 水圧部会

- ① IFPEX2017 に水圧駆動装置の動態展示を含め  
た ADS 特別展示コーナーを設ける。また、ADS  
国際標準化活動の成果等も併せて発表する。  
（JKA 補助事業：申請中）
- ② 平成 28 年度に設置した「ADS 機器技術仕様調  
査委員会」の下、ADS サプライヤーの製造・  
販売・取扱い機種の詳細仕様、性能を調査収  
集する。
- ③ ADS の更なる普及促進を図るため、HP 及びブ  
ログの運用を拡充強化するとともに、ADS 需  
要分野の見本市への出展を検討する。
- ④ 内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の  
動向や情報収集等を行うとともに、必要に応  
じ国際会議にも参加する。
- ⑤ 平成 27 年度に設置した「ADS 国際標準化推進  
委員会」の下、水圧技術の国際標準化に向け、  
水圧部会としての協力を継続する。
- ⑥ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

#### 5. 広報・PR 事業

電子メールや HP 等を活用し、会員企業に適切  
な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等  
について会員企業はもとよりマスコミ・シンク  
タンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の  
「見える化」を一層進める。

- ① IFPEX2017 に関する機関誌「フルードパワー」  
特集号を、夏号及び秋号に企画し発行する。
- ② 工業高校・高等専門学校・大学等における教  
育資料、副教材等への活用として、「フルード  
パワーの世界」デジタルブック版の普及を図  
る。
- ③ 機関誌「フルードパワー」を四半期毎に発刊  
し、会員企業はもとより関係機関等にも広く  
配布するとともに HP に掲載し、広く広報・PR  
に努める。  
特に、本年度は編集委員会にて記事構成のあ  
り方、配布先等の見直しを実施し、これまで  
以上に幅広く活用される機関誌の出版を目指  
す。
- ④ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもと  
より関係機関等に電子配信するとともに HP  
に掲載し広く広報に努める。
- ⑤ HP の内容を適切に更新し、会員及び学会・関  
連関係者への情報開示を積極的に進める。
- ⑥ その他広報・PR 活動に関する事業を推進す  
るとともに、当会が開催する講演会等について  
積極的な広報・PR 活動を行う。

## 2. その他事業

### 6. 中小企業関連事業

グローバル化の進展に伴い中小企業を取り巻く経済環境は激変しており、今や海外展開が大きな課題となっている。こうしたなかで当事業では、「中小企業委員会」と傘下の「中小企業WG」を軸に事業を実施し中小企業業界のさらなる振興・発展を図る。

- ① 中小企業委員会を四半期に1回開催し、需要業界の動向や METI と連携して中小企業施策等の情報を迅速に提供する。また、関連部会と連携して講演会を開催する。
- ② 中小企業の福利厚生面を支えるための「共済事業」を推進するとともに事業を拡充するため参加企業の拡大を図る。
- ③ 中小企業WGも四半期に1回開催し、中小企業委員会の円滑な運営を図るための企画調整を行う。
- ④ 中小企業の生産技術や品質管理技術等のさらなる向上を図るため関連企業等を視察する研修事業を実施する。
- ⑤ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

### 7. 振興対策等その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向やPLや標準化問題等について意見交換を行う。また、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

#### 1) 振興対策事業

- ① 第25回 IFPEX 2017(平成29年9月13日(水)～9月15日(金)の3日間)を成功させるため、「IFPEX 実行委員会」にて企画実行する。
- ② 第29回 JIMTOF 2018(平成29年11月1日(木)～11月6日(火)の6日間)に会員企業が参加するための準備作業を行う。
- ③ 産機・建機合同部会及びシリンダ部会、空気圧本部会を開催し、業界動向等について意見交換を行うとともに、競争と協調の下秩序ある業界体制の確立を図る。
- ④ 地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。
- ⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する。

#### 2) PL 対策事業

海外PL及び国内CGL(国内PL・作業・業務遂行・施設のリスク:COMPREHENSIVE GENERAL LIABILITY)からなる団体総合保険制度の健全

な運営を図る。

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るためPR活動を引き続き実施する。
- ② 国内外地域を対象とした製造業者E&O(経済損失カバー)保険制度について、引き続き実現に向けて関係者と連携して進めていく。
- ③ 国内PL情報や海外PL情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する。
  - イ) ケーススタディを中心としたPL・企業リスク対策等の講演会を開催する。
  - ロ) 三井住友海上火災保険(株)提供のPLニュースを電子配信する。
  - ハ) ワールドインシュアランスグループ提供の情報を電子配信する。
  - ニ) 東京海上日動リスクコンサルティング(株)提供の海外安全トピックスをHPに掲載する
  - ホ) その他のPL関連情報の収集と提供等PL対策に必要な事業を実施する。

#### 3) その他事業

- ① 省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を実施する。((株)野村総合研究所からの受託事業:3年計画の3年目)
- ② 高齢者雇用推進ガイドラインを策定し、普及活動を行う。((独)高齢・障害・求職者雇用支援機構受託事業:2年計画の2年目)
- ③ フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進事業を実施する。(標準化事業(再掲):JKA補助事業として申請中:3年目)
- ④ IFPEX2017に水圧駆動装置の動態展示を含めたADS特別展示コーナーを設ける「産学連携によるADS国際標準化事業」を実施する。(技術調査事業(再掲)JKA補助事業として申請中)
- ⑤ IFPEX2017にて大学等で研究しているフルードパワーロボットの動態展示等を行う「産学連携フルードパワーロボット研究発表補助事業」を実施する。(振興対策事業(再掲)JKA補助事業として申請中)
- ⑥ 規格事業のうち公募によるJIS原案作成事業を実施する
- ⑦ 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ⑧ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。

- ⑨ 西日本支部活動を支援する。
- ⑩ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

### Ⅲ. 予算策定時の会員状況

平成29年4月1日現在の会員数は、正会員63社、賛助会員59社である。

次に上記事業を実施するため、事務局から以下の通り平成29年度収支予算(案)を説明し、次回理事会へ上程することが承認されました。以上で審議が終了し14:00に会議は終了しました。

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~

#### 国際委員会及び講演会

日時 12月19日(月) 15:00～17:00  
場所 機械振興会館6-62会議室  
出席者 新開委員長以下12名  
事務局 藤原、堀江  
議事

新開委員長の挨拶に続き、平成28年度事業の進捗状況と今後の予定並びに平成29年度事業計画(案)について審議を行った。平成28年度の進捗としては①in Japan 作成・配布事業について、②国際委員会主催の講演として6月に不公正貿易関連、9月に海外から帰任されたかとのドイツ及び米国シリコンバレーの状況報告の講演会を開催。③「PTC-ASIA 2016」が11月1日(火)～11月4日(金)まで中国の上海新国際見本市会場で開催され、[MDA-INDIA2016]が12月1日(木)～12月3日(土)までインドのムンバイ近郊のインド国際見本市会場で開催されたが、共にカタログ共同展示事業は中止したこと。④2017ハノーバーメッセ研修視察団派遣とサミット関連事業傘下のための事前準備を行っていること、⑤来年2月8日に開催予定の中小企業委員会との共催講演会事業の事務局(案)について意見交換を行った。続いて、会員各社の海外展開状況を報告していただき、その後、(一社)日本工作機械工業会業務国際部長の田中一彦様より、「工作機械から見た世界の市場動向」のテーマで講演会を開催した。



日本工作機械工業会・田中様の講演状況

~~~~~  
標準化事業/ISO対策事業  
~~~~~

#### 空気圧調質機器分科会

日時 12月7日(水) 13:30～16:30  
場所 機械振興会館6-63会議室  
出席者 小田主査以下5名  
事務局 千葉  
議事

前回議事録確認後、主査より11月のISO/TC131/SC5/WG5 ミラノ会議報告があった。これまで行ってきたサイレンサ試験についてプレゼンテーションを行い、日本の試験方法の有効性を示した。それを踏まえたうえで、投票結果に基づきサイレンサISO規格のフランス案は承認されDIS投票へと移行する。日本案はアネックスとして記載するか、別の規格として提案することが示された。これに関して検討した結果、規定のアネックスとして提案することにした。

続いて、JIS B 8372-1の改正案について継続審議した。

次回開催:1月31日(火) 機振会館 6-63 会議室

#### ISO/TC131/SC4(継手ホース)分科会

日時 12月13日(火) 13:30～16:00  
場所 機械振興会館6-63会議室  
出席者 中林主査以下6名  
事務局 千葉  
議事

前回議事録確認後、投票に掛かっているISO 12151-1:2010/FDAmD1及びISO 10763:1994の改正議案については賛成投票する。定期見直しISO

4397:2011 (Ed3)及びISO 6150:1988についてもコメントなし確認で投票することにした。

続いて、ISO/TS 17165-2 を基にした工業規格については、これまでの経緯をおさらいし、一部修正部分の検討を行った。修正案を委員に送付し意見を求めることにした。

次回開催：3月7日(火) 機振会館 6-64 会議室

\* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案

(TC118)

FDAmD-1 28927-1 Hand-held portable power tools --  
Test methods for evaluation of vibration emission  
-- Part 1: Angle and vertical grinders --  
Amendment 1: Cupped wire brushes

ISO/DIS 28927-13 Hand-held portable power tools  
-- Test methods for evaluation of vibration  
emission -- Part 13: Fastener driving tools

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

流量測定分科会

日 時 12月8日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下9名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、投票に掛かっている空気圧システムのエネルギー効率の最適化のTRについて検討審議した。日本としては空気圧システムのエネルギー効率の測定方法を優先したいので反対投票する方向で中国に歩調を合わせるよう働きかける。

続いて、今年度12月スタートに登録したISO 6358-2 流量特性試験方法の代替試験方法のJIS原案の継続審議を行った。

次回開催：H29-2月3日(金) 機振会館 5S-4 会議室

油圧システム分科会

日 時 12月12日(月) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 渋谷主査以下5名

事務局 千葉

議 事

まず、投票に掛かっているISO/NP/TR 22164につ

いて審議した。このTRは油圧システムのエネルギー効率の最適化に関するものであるが、方向性が見極めは付けにくい。反対する理由もないので、とりあえず賛成投票することにした。

続いて、平成28年度B区分に登録したJIS B 0125-2”油圧・空気圧システム及び機器一図記号及び回路図—第2部：回路図”の改正原案について検討審議した。

次回開催：2月1日(水) 機振会館 6-63 会議室

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 12月14日(水) 13:30 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 嵯峨主査以下4名

事務局 千葉

議 事

ISO/TC131/SC4 ミラノ会議報告をもとに、当分科会に関連する事項を確認した。ISO/CD 14743に関連し、日本は、基本的にインチサイズを混在させることには反対であるが、DISに移行することが決定した。

ISO 14743が発行された時に備え、JIS化時に必要となる事項について各社のカタログデータを持ち寄ることとし、必要な項目をピックアップした。

次回開催：2月23日(木) 機振会館 6-63 会議室

空気圧バルブ分科会

日 時 12月15日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 夏目主査以下4名

事務局 千葉

議 事

前回議事録に沿って議事を進行した。

JIS B 8376 空気圧用速度制御弁の見直し作業に入った。前回の会議で決めきれなかった流量特性試験とJIS B 8390-1との整合、耐圧試験、漏れ試験、耐久試験などについて検討した。

次回開催：2月16日(木) 機振会館 6-63 会議室

空気圧システム分科会

日 時 12月22日(木) 13:00 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 増尾主査以下6名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、投票に掛かっている空気圧システムのエネルギー効率の最適化のTR 22165につい

て検討審議した。流量測定分科会で審議した結果を説明し、流量測定分科会の方針どおりとすることにした。

続いて、改訂版リスク低減に関するガイドブック（JIS B 8370:2013 準拠）案について前回に引き続き担当者を代えて検討した結果を継続審議した。  
次回開催：2月2日（木）機振会館6-60 会議室

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会第530回特許分科会

日時 12月16日（金）13:00～17:00  
場所 機械振興会館6-61 会議室  
出席者 赤松幹事以下6名  
事務局 吉田  
議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、ウォッチング対象の案件については引き続き経過のウォッチングを継続することとした。1件については有効な証拠資料が発見できなかったため調査を終了することとした。2件について、継続して調査を行うこととした。新たに1件の調査検討することとした。  
次回開催：1月27日（金）機械振興会館6-61

技術委員会空気圧部会若手技術者懇談会

日時 12月22日（木）13:30～19:00  
場所 機械振興会館B3-3 会議室  
出席者 土井高司部会長以下15名  
事務局 千葉、大橋  
議事

土井部会長の開会挨拶の後、直ちに第1部の芝浦工業大学教授・川上幸男先生による講演に入った。演題は下図に示す通り、CFD（Computational Fluid Dynamics）による流動解析であり、断面形状の異なる空気圧管路や、サイクロン型ドレンセパレータ内の案内羽などを対象とした仮想的な流量特性試験に関して、理論から解析結果まで研究成果を紹介していただいた。



講演演題と講演中の川上講師

第2部は、入社2年の若手から12年の中堅を含む9名の参加者による作文発表と質疑応答を行った。今回は空気圧技術者としての抱負をテーマとするものが多く、過半数を占めた。また、最近の社会情勢や空気圧業界を取り巻く環境の中でどのような機器やシステムを開発すべきかのアイデアや、予防保全の重要性を語った作文なども披露された。川上講師やJFPS事務局長からも多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われた。

第3部の懇親会は、若手の参加者が6名と少なかったが、作文の発表内容や日常の話題をはじめ、川上講師や年齢層の異なる事務局とも、それぞれに相手を替えながら歓談し親交を深めていた。



懇談会後の懇親会参加者

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆社名変更  
（賛助会員）

（株）マーレインダストリアルフィルトレーションより、米国本社の株式売却に伴う新会社スタートの連絡がありましたのでお知らせします。

平成28年11月1日付  
新会社：日本フィルトレーショングループ(株)  
産業用フィルター事業の設立は、平成28年2月26

日、別途連絡有

☆社長交代

(賛助会員)

日本シリンダ共同事業株式会社

代表取締役社長 佐藤 康彦 (新任)

前代表取締役社長 遠藤 房夫 (退任)

12月に就任されました。

なお、前社長の遠藤房夫氏は退任されました。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

\*平成29年

☆1月12日(木) 第79回理事会

(時 間) 13:30~14:50

(場 所) ザ・プリンス パークタワー  
芝公園 B-2 さざんか

☆1月12日(木) 年始会

(時 間) 15:00~16:30

(場 所) ザ・プリンス パークタワー  
芝公園 B-2 ボールルーム AB

☆2月8日(水) 国際・中小企業委員会合同講演会

(場 所) 機振会館

☆2月22日(水) 技術講演会

(場 所) 機振会館

☆3月30日(木) 第26回政策委員会

(場 所) 当会会議室

☆4月21日(金) 第80回理事会及び懇親会

(時 間) 15:30~16:50

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー  
高輪  
2F「コンファレンスフロア」

☆5月18日(木) 平成29年度(第18回) 定時総  
会及び懇親会

(時 間) 15:30~16:50

(場 所) 東京プリンスホテル  
芝公園 サンフラワーホール  
同懇親会

(時 間) 17:00~18:30

(場 所) 東京プリンスホテル  
マグノリアホール

☆5月19日(金) 第56回 JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート  
OUT 9:30、36、42 3組  
I N 9:30、36、42 3組

☆9月13日(水)~15日(金) IFPEX2017

(場 所) 東京ビックサイト東ホール

~~~~~

12月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

政策委員会

開催日 12月13日(火)

出席者

委員長 田中 治 (油研工業)

委 員 臼井政夫 (KYB)

〃 十萬幹雄 (神威産業)

〃 宮内壽一 (甲南電機)

〃 北島多門 (SMC)

〃 松井正彦 (マツイ)

〃 古川清二 (税理士法人ビランツ)

(国際交流事業)

国際委員会・国際問題WG 合同会議

開催日 12月19日(月)

出席者

委員長 新開 諭 (甲南電機)

委 員 北島多門 (SMC)

〃 原沢直季 (コガネイ)

〃 木挽一彦 (三菱電線工業)

〃 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)

〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)

〃 西本 茂 (廣瀬バルブ工業)

〃 宮坂 篤 (油研工業)

〃 篠根邦夫 (堀内機械)

代 理 門田 勉 (CKD)

(標準化事業/ISO対策事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 12月7日(水)

出席者

主 査 小田敏裕 (甲南電機)

委 員 三村 岳 (SMC)

〃 土岐真人 (コガネイ)

〃 國崎雄嗣 (CKD)

〃 高橋隆道 (甲南電機)

(標準化事業/規格事業)

流量測定分科会

開催日 12月8日(木)



出席者  
 主 査 妹尾 満 (SMC)  
 委 員 香川利春 (東京工業大学)  
 // 高橋浩爾 (上智大学)  
 // 眞田一志 (横浜国立大学)  
 // 長井敏和 (CKD)  
 // 齊藤 悠 (コガネイ)  
 // 八手又秀浩 (日本ピスコ)  
 // 張 護平 (SMC)  
 // 進藤克己 (クロダニューマティクス)

(技術調査事業)  
 技術委員会空気圧部会  
 第 530 回特許分科会  
 開催日 12 月 16 日 (金)  
 出席者  
 幹 事 赤松直人 (甲南電機)  
 委 員 栗盛宏樹 (アズビル TACO)  
 // 井野雅康 (SMC)  
 // 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
 // 今野英俊 (コガネイ)  
 // 細井一也 (CKD)

油圧システム分科会

開催日 12 月 12 日 (月)  
 出席者  
 主 査 渋谷文昭 (東京計器)  
 委 員 町田哲治 (東京計器)  
 // 城ヶ崎正生 (豊興工業)  
 // 中川幸隆 (川崎重工業)  
 // 山本 裕 (ボッシュ・レックスロス)

空気圧若手技術者懇談会  
 開催日 12 月 22 日 (木)  
 出席者  
 部長 土井高司 (コガネイ)  
 講 師 川上幸男 (芝浦工業大学)  
 オガザハ 藤谷秀次 (学会(JFPS)事務局長)  
 参加者 榎本真之 (SMC)  
 // 川村陽一 (SMC)  
 // 栗原光弘 (SMC)  
 // 宮崎光照 (クロダニューマティクス)  
 // 西 泰光 (甲南電機)  
 // 荒木 実 (コガネイ)  
 // 佐藤佑哉 (コガネイ)  
 // 浅野公則 (コガネイ)  
 // 武田沙織 (CKD)  
 // 二宮康朗 (CKD)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 12 月 14 日 (水)  
 出席者  
 主 査 嵯峨秀一 (ニッタ)  
 委 員 條 茂幸 (SMC)  
 // 大場良太郎 (コガネイ)  
 // 井戸田健 (CKD)

空気圧バルブ分科会

開催日 12 月 15 日 (木)  
 出席者  
 主 査 夏目清辰 (CKD)  
 委 員 河野喜之 (甲南電機)  
 // 大島雅之 (SMC)  
 // 中古 弘 (TAIYO)

~~~~~  
 月間行事概要  
 ~~~~~

空気圧システム分科会

開催日 12 月 22 日 (木)  
 出席者  
 主 査 増尾秀三 (CKD)  
 委 員 神戸孝典 (甲南電機)  
 // 上間丈司 (クロダニューマティクス)  
 // 門間崇宏 (コガネイ)  
 // 張 護平 (SMC)  
 // 佐々木政彰 (アズビル TACO)

<12 月>  
 7 日 (水)  
 ・ ISO (委) 空気圧調質機器分科会  
 8 日 (木)  
 ・ 標準化 (委) 流量測定分科会  
 10 日 (土) ~15 日 (木)  
 ・ 振興対策 シリンダ インド・  
 タイ海外研修  
 12 日 (月)  
 ・ 標準化 (委) 油圧システム分科会  
 13 日 (火)  
 ・ 第 24 回政策 (委)  
 ・ ISO/TC131/SC4  
 継手・ホース分科会

- 14 日 (水)
- ・ ISO/TC131/SC4  
継手・チューブ分科会
- 15 日 (木)
- ・ ISO (委) 空気圧バルブ分科会
- 16 日 (金)
- ・ 技術 (委) 空気圧部会第 530 回特許分科会
- 19 日 (月)
- ・ 国際 (委) 国際委員会
- 22 日 (木)
- ・ 標準化 (委) 空気圧システム分科会
  - ・ 技術 (委) 空気圧若手技術者懇談会
- 28 日 (金)
- ・ 仕事納め

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---